

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 舞踊集団菊の会
公演団体名	舞踊集団菊の会

内容

民謡を踊って日本のリズムを体感しよう！！

2 時限分を使わせて頂き、

1 時限目は全校生徒(もしくは希望学年)、2 時限目は代表生徒を対象に行います。

1 時限目: 手拍子や掛け声で民謡のリズムを楽しみます。

そして、実際に日本三大盆踊りのうちの一曲を踊ってみて体感してもらいます。

2 時限目: 代表生徒に、本公演で踊ってもらう「八木節」を練習します。

タイムスケジュール(標準)

開始 1 時間前に学校入り。(体育館にて準備、ご担当の先生と打合せ等)

1 時限目 全校生徒(もしくは希望学年)

休憩

2 時限目 代表生徒

派遣者数

5 名

学校における事前指導

特にありません

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 舞踊集団菊の会
公演団体名	舞踊集団菊の会

演目

『みて・きいて・おどって感じる ニッポンの心！ オモシロ民俗芸能の魅力発見！！』

① さなぶり荒馬(青森県)

② 鹿躍(岩手県)

【ワークショップⅠ】装束をさわってみよう！

【ワークショップⅡ】みんなでお米づくり

③ 百姓おどり(岩手県)

④ 飾山囃子(秋田県)

⑤ 鬼剣舞 “一人加護”(岩手県)

⑥ 銭太鼓(島根県)

⑦ 傘おどり(鳥取県)

【ワークショップⅢ】日本の楽器の音色を きいてみよう！

⑧ 阿波踊り(徳島県)

⑨ 八木節(群馬県)

派遣者数

18名

(出演者 15名 スタッフ 3名)

タイムスケジュール(標準)

9:00 学校到着 → 搬入 → 設営・準備

10:30~11:45 リハーサル(うち30分程 代表生徒リハーサル)

12:00~ 昼食・支度

13:30 本番(90分 うち10分休憩)

15:00 本番終了 → 片付け

16:00 退校

実施校への協力依頼人員

演目解説

『みて・きいて・おどって感じる ニッポンの心！
オモシロ民俗芸能の魅力発見！！』

【みて・きいて・おどって・かんじる】をテーマに、
全曲、生演奏により 舞踊家が間近でおどり、日本各地に伝わる様々な民俗芸能の持つ
魅力に迫ります。

①さなぶり荒馬(青森県)

田植え後に、豊作や害虫駆除を
祈願して地元の神様に奉納した芸能。
馬の他、獅子や猿も登場して賑やかな
囃子で踊りながら入場します。



②鹿躍(岩手県)

長い腰指(ささら)を背負い、腰に付けた
太鼓を激しく打ち鳴らし 念仏調の踊り歌を
自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな
芸能です。

【ワークショップ I】装束を さわってみよう！

今 舞台をつとめた鹿躍の扮装を外して、
装束や道具の解説をしていきます。
頭(かしら)や太鼓を代表の生徒さんに
持って頂き実際の重量感を体験して頂きます。



【ワークショップⅡ】 みんなでお米づくり

次演目の「百姓おどり」で使用する小道具を説明しながら昔ながらのお米が出来るまでを見ていき、演目の最後に俵が積みあがったあとは全員で手拍子をして参加して頂きお米が出来た喜びを共に感じます。



③百姓おどり(岩手県)

五穀豊穰を祈願し奉納されてきた踊りで、一年間のお米作りの中で伝統的な作業の様子をコミカルに踊ります。

鍬、鎌などの小道具の他、うずまき傘を脱穀機に見立てるなどして楽しい踊りからお米作りに興味を持って頂ける一曲です。



④飾山囃子(秋田県)

飾山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、娘たちがその山車の上で華やかに踊る秋田県の祭礼です。



⑤鬼剣舞 “一人加護”(岩手県)

鬼面(仏の化身)を付け、刀と扇子を扱いながら勇壮に踊ります。

鬼剣舞の数ある演目の中でも “一番庭” “八人加護” と共に剣舞を代表する演目



⑥銭太鼓(島根県)

竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けた楽器を打ち振って文化文政の頃(1804~29)から盛んに唄われてきたと言われる “隠岐相撲取節” にのせてリズムカルに踊ります。



⑦傘おどり(鳥取県)

昔、雨乞いの為に踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄“貝殻節”にのせて踊ります。



【ワークショップⅢ】日本の楽器の音色をきいてみよう！

日本の伝統的な楽器を紹介します。(三味線・太鼓・締め太鼓・笛・鉦)

⑧阿波踊り(徳島県)

日本三大盆踊りの一つで、築城の祝いに城主が、武士も町民も隔てなく踊らせたのが始まりとも言われています。様々に変化する演奏のリズムに合わせて手拍子で参加しながらおどりを見て頂きます。



【ワークショップⅣ】おどってみよう！

代表学年の生徒さんによる「八木節」を共演します。会場の全員で手拍子やかけ声で参加してもらいます。

⑨八木節(群馬県)

提灯、すげ笠、花笠、唐傘等を扱いながら活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。



児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップ時に日本のおどりのリズムなどを体感して頂き、全校児童生徒さんが本公演で手拍子参加できるようにしたり、代表の生徒さんと本公演終盤で踊る「八木節」を練習しますが、そこでは「手踊り」「菅笠踊り」「かけ声(コロナ禍の場合 手拍子)」のグループに分かれる時も、児童生徒さんの自主性を尊重し各自の判断に任せてグループ分け出来ることが理想的です。そして各グループで練習したものを合わせて一曲の構成が出来るようにして、当日皆さんに披露することで一つのを皆で楽しみながら協力して創り上げていく喜びを感じて頂きます。

本公演では、見て、聞いて、踊って沢山の事を感じて興味を持って頂けるよう曲目解説や楽器紹介などを合間々々に入れ、時には児童生徒さんへもその場で質問をなげかけながらテンポよく展開していきます。

児童生徒とのふれあい

曲目解説の中でボードを活用し、振り(表現)の元となる自然や道具等の“見立て”等をクイズ形式にしたりして交流しながら児童生徒さんのおどり、そして民俗芸能への興味をふくらませていきます。
学校側のご意向があれば、終演後その場で児童生徒さんより感想を頂いたり、出演者への質問コーナーを設けて、より具体的な交流を図ります。
又、ご要望がありましたら、「八木節」を踊ってくれた代表学年の方たちと出演者で記念撮影を行います。

